

第7章 街づくり 第6節 下水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
経営課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	マンホール広告は全国初の事業であるため、各種メディアに取り上げられるなど、広く注目を集め、下水道をより身近に感じるイメージアップに貢献する事業となった。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①マンホール広告設置箇所数	①有料広告用デザイン入りマンホール蓋の設置箇所数	①マンホール広告は設置時期が異なり、収入額は不規則となるため設置箇所数								
	根拠法令	所沢市上下水道局マンホール広告の掲載に関する要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)											
	自主財源確保促進事業(マンホール蓋広告)	事業の目的及び具体的な内容	1,426千円	443千円	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	期間	マンホール蓋を広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより、新たな財源の確保に努めるもの。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度目標	H29実績
	H28年度～H30年度		0.00人	0.00人	①10箇所	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
		0千円	0.00人		R元年度目標										
		6,194千円	0.00人		10箇所										
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、東西クリーンセンターの地元周辺における下水道整備については、一定の成果があげられていると考える。今後も廃棄物処理施設の必要性を理解し、市政にご協力頂いている周辺地区住民の生活環境の向上等が図られるよう努める。	H30年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	88,001千円	74,900千円	①下水管布設延長	下水管布設総延長	地元地区環境整備保全委員会と協議を行い、下水管の布設箇所を決定しているため、下水管布設延長を指標とする。								
	根拠法令	下水道法	H30予算現額	H30決算額(見込み)											
	清掃施設周辺整備事業	事業の具体的な内容及び目的	149,880千円	118,958千円	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	期間	東部クリーンセンター及び西部クリーンセンターの建設に伴い、廃棄物処理施設の必要性を理解し、ご協力頂いている周辺地区への地域還元として、住民の意向等を踏まえながら清掃施設周辺整備事業を実施しており、その一環として、下水道整備等を進めているところである。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度目標	H29実績
	H10年度～		0.32人	0.00人	①734.4m	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
		2,715千円	0.00人		R元年度目標										
		4,358千円	0.00人		11,894.5m										
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので、整備面積を指標とする。	H30年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,607,843千円	1,555,080千円	①汚水管の整備面積	整備面積	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので、整備面積を指標とする。								
	根拠法令	下水道法、都市計画法、環境基本法	H30予算現額	H30決算額(見込み)											
	下水道管渠布設事業	事業の具体的な内容及び目的	2,277,197千円	1,476,455千円	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	期間	下水道未整備区域の汚水管整備を進め、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、平成15年度から「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき整備に着手し、平成27年度より第3期市街化調整区域の面整備事業を実施している。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度目標	H29実績
	S32年度～		10.62人	0.00人	①15.1ha	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
		91,067千円	0.00人		R元年度目標										
		79,335千円	0.00人		15.8ha										
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	雨水管等の整備面積の拡大及び浸透井整備の完了箇所数が増加することで、目標達成の成果が把握できるので指標とする。	H30年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	305,147千円	305,046千円	①雨水管等整備	①年度別整備面積	雨水管等の整備面積の拡大及び浸透井整備の完了箇所数が増加することで、目標達成の成果が把握できるので指標とする。								
	根拠法令	下水道法、都市計画法	H30予算現額	H30決算額(見込み)											
	雨水対策事業	事業の具体的な内容及び目的	960,537千円	926,261千円	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	期間	雨水を速やかに排除し、浸水・冠水等を防ぐ。①集中豪雨時の浸水・冠水被害発生地域の把握と状況調査を実施する。②調査結果に基づき、雨水対策地域の把握及び方法の検討を行う。③冠水被害が頻発に発生している地区の雨水整備を実施する。④緊急に雨水整備が必要とされる地区における暫定措置として、雨水浸透井を築造する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度目標	H29実績
	S32年度～		2.83人	0.00人	①3.37ha	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
		24,267千円	0.00人		R元年度目標										
		32,837千円	0.00人		0ha・2箇所										

第7章 街づくり 第6節 下水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望には概ね対応できた。これは、外部情報を受け直ちに現地確認を行い、直営又は業者による対応を迅速に行ったためである。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,290,429千円	2,086,598千円	①1年間に清掃した管渠延長	改善要望対応件数 (R元年度から、改善要望対応率)	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等 (目標値＝要望件数、実績＝完了総数) (R元年度から、目標値を 完了総数/要望件数＝100% とする)								
	根拠法令	下水道法	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②1年間に取替えたマンホール蓋の個数		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	下水道維持管理事業	事業の具体的な内容及び目的	2,399,301千円	2,137,031千円	③1年間に実施したテレビカメラ調査箇所	100件	157件	H30目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S33年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績							目標達成済	
	下水道は市民が安全で快適な生活を確保するために重要なライフラインである。適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させるとともに、継続的に利用できる環境を整えることを目的とする。 ①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃 ②老朽化施設の更新 ③下水道施設から発生する臭気対策、不明管・侵入水等のテレビカメラを使用した原因調査 ④降雨災害防止のための対策及び巡視 ⑤市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	① 6,542.2m	100件	146件	目標達成済							
			18.10人	0.00人	② 680個	R元年度目標								100%	
			153,579千円	0.00人	③ 183箇所										
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合											
			16.42人	0.00人											
		137,600千円	0.00人												

都市下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	直営による定期的な調整池の除草・スクリーン清掃等を実施、適切な維持管理及び事故防止の徹底が図れた。	H30年度に改善した点	有	有
重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	58,292千円	57,731千円	①1年間にしゅんせつした堆積土の量	・改善要望対応件数(平成29年度まで) ・調整池の点検回数(除草・スクリーン清掃等) (平成30年度から)	(平成29年度まで) 除草要請、ごみ撤去等 (目標値＝要望総数、実績＝完了総数) (平成30年度から) 調整池の適切な維持のために週1回のバトロール実施(月4回×12か月)							
根拠法令	下水道法	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②1年間に除草した面積	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析						
都市下水道維持管理事業	事業の具体的な内容及び目的	63,147千円	55,822千円	実績	3件	1件	H30目標値が未達成の理由・分析						
期間	S45年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	① 370㎡	H30年度目標	H30実績	目標達成済						
浸水のない快適な都市環境を保持し、安全で快適な市民生活を守るため、都市下水道及び調整池を適切に管理する。 ①堆積土のしゅんせつ ②除草、樹木の剪定 ③施設の補修及び改良工事 ④降雨災害防止のための対策及び巡回		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	② 68,410㎡	48回	48回	目標達成済						
		3.00人	0.00人		R元年度目標		48回						
		25,455千円	0.00人										
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合										
		3.60人	0.00人										
		30,168千円	0.00人										